

霞城



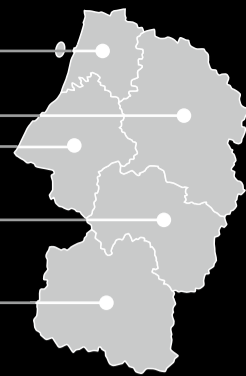
第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsd/nea/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

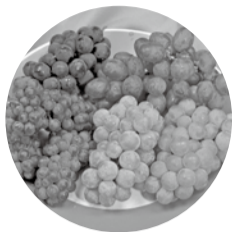
隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.720

KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



第4中隊・情報小隊・通信小隊が任務完遂

「令和4年度第2次基礎となる 部隊の訓練検閲」を 実施



事故の絶無へ 「令和4年度連隊安全の日」を実施



Contents

2ページ

- 第4中隊・情報小隊・通信小隊が任務完遂
「令和4年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施
- 真室川町自衛隊家族会が理解深める
「駐屯地見学」に協力

3ページ

- 事故の絶無へ「令和4年度連隊安全の日」を実施
- 「令和4年度新隊員特技課程及び第18期一般陸曹
候補生課程後期教育修了式」を実施
- 融和団結を図る
「令和4年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施

4ページ

- 「令和4年度天童市総合防災訓練」に参加
- 県内各地で車両展示「PCO 広報展」に協力
- 隊員紹介コーナー
- 定年退官者紹介
- 昇任おめでとう!
- 各種表彰
- 11月行事予定

2022

October
10

第4中隊・情報小隊・通信小隊が任務完遂

「令和4年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施

9月24日(土)から26日(月)までの2夜3日にわたり、王城寺原演習場(宮城県)において「令和4年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施した。

本訓練検閲は、第4中隊(中隊長 大東1尉)が課目「支隊戦正面を担当し、独立的に行動する増強普通科中隊としての行動」、情報小隊(小隊長 柿崎3尉)が課目「支隊戦正面において情報活動に任ずる情報小隊としての行動」、通信小隊(小隊長 齋藤2尉)が課目「支隊戦正面におけるシステム通信組織の構成・維持・運営」における部隊の基本的行動等について評価した。

訓練開始に先立ち、統裁官(連隊長 荒木1佐)は「指揮の要訣の具現化・実践」「部隊の基本的行動及び隊員の基礎的動作の確行」「健康管理・安全管理を徹底せよ」の3点を要望し「全隊員が一丸となり任務に邁進することを期待する。」と訓示した。

情報小隊は24日早朝から夕にかけて、船形山一帯を経路とした約15kmの山地機動を実施した。前日の深夜から雨が降りしきり、かつ山頂付近では風速10mを超える過酷な状況であったが隊員相互に声を掛け、安全管理に留意して取り組んでいた。また、24日夕から25日早朝、第4中隊及び通信小隊は約40kmの徒歩行進を実施、王城寺原演習場内の起伏の激しい経路を整齐と行進した。

引き続き、通信小隊は有線構成等を実施、システム通信組織の構成・維持・運営に取り組んだ。情報小隊は構成した戦場監視網によって敵情を発見すると速やかに第2科に情報を報告する等、一連の行動を実施し、

積極果敢な情報活動を行った。26日早朝、第4中隊は目標への攻撃を容易にするため対戦車兵器をもって敵装甲車等を制圧、迫撃砲小隊の突撃支援射撃のもと勇猛果敢に突撃を実施し、見事目標地域を奪取した。

状況間、暑いとも言える秋晴れの中、全隊員が士気旺盛であり、昼夜問わず与えられた任務に邁進するとともに、受閲部隊が一致団結して任務を完遂した。

28日(水)には駐屯地において、訓練終了後の研究会が行われ、統裁部基本基礎班の統制により、隊員の基礎的動作のほか戦闘様相、成果及び教訓について認識を共有した。



第4中隊 勇猛果敢に任務遂行



情報小隊 山地機動 全員が踏破



通信小隊 有線構成

「優秀隊員紹介」

- 第4中隊
- 中隊本部 3曹 大原 祐也
 - 第1小隊 3士長 浅間 颯斗
 - 第2小隊 3曹 浅井 洋佑
 - 第3小隊 3曹 根本 翔太
 - 迫撃砲小隊 2曹 岩崎 幹生
- 情報小隊 3曹 高橋 潤
- 通信小隊 3曹 三浦 裕介

真室川町自衛隊家族会が理解深める 「駐屯地見学」に協力



第1中隊を見学

9月16日(金)、神町駐屯地において駐屯地広報班が実施する「駐屯地見学」に協力した。

駐屯地見学には真室川町自衛隊家族会14名が参加し、真室川町隊区担任部隊等の紹介として第1中隊を見学し、中隊長及び先任上級曹長が職場を紹介した。また、真



体験喫食



見送り

室川町出身である隊員2名が家族会の皆様と体験喫食及び懇談を楽しんだ。

見学に訪れた14名は、陸上自衛隊及び20連隊の活動等について理解を深め、充実した時間を過ごしていた。

事故の絶無へ 「令和4年度連隊安全の日」を実施



連隊長訓示

9月22日(木)、神町駐屯地において「令和4年度連隊安全の日」に伴い慰霊碑参拝及び安全教育を行った。本来、連隊安全の日は9月26日であるが令和4年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲を実施するため、時期を早めての実施となった。

慰霊碑参拝には、各中隊代表10名が参加し、連隊所属の殉職隊員に対して黙祷を捧げ、連隊長(荒木一佐)が「我々の任務の特性上、常に危険と隣り合わせにある。安全管理は一人ひとりが危険見積を立て、正しい状況判断をすることが重要である。厳しい訓練、厳正な安全管理の両輪を確立させ、精強な部隊の育成に努めよ。」と訓示を述べた。慰霊碑参拝後、各中隊計画で安全管理教育を実施し、訓練事故の発生防止に対する認識を深めた。

「安全の日」は、慰霊碑の22柱、特に20連隊の5柱の御霊を追悼するとともに、過去に20連隊で発生した訓練事故を風化させることなく、訓練事故を未然に防止し、自己及び同僚の身の安全について啓発することを目的として毎年実施されている。



各中隊ごとと安全教育

融和団結を図る

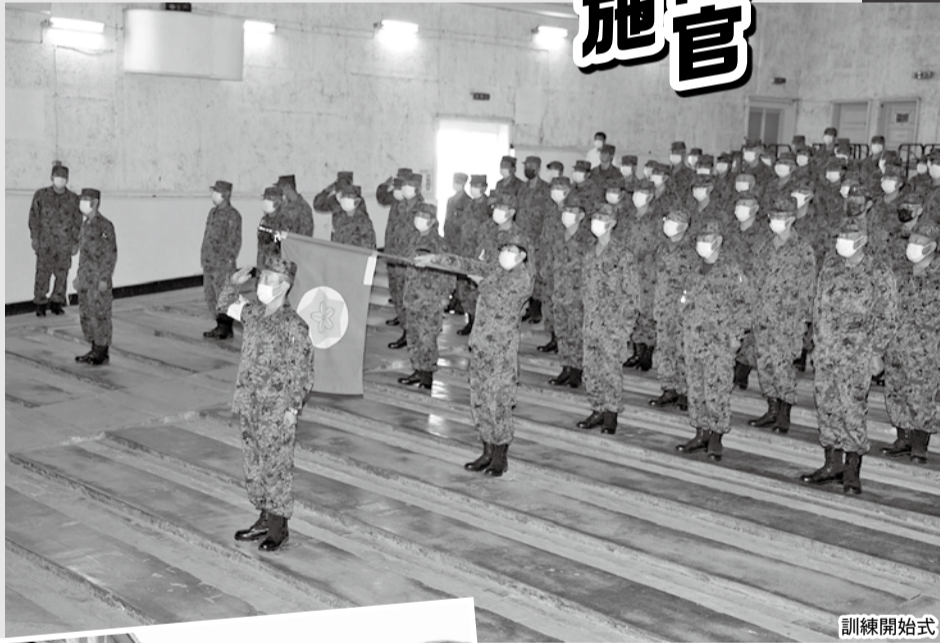
「令和4年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施

9月16日(金)から20日(火)までの間、神町駐屯地において「令和4年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施した。

16日、駐屯地講堂において訓練開始式が行われ、連隊長(荒木一佐)は「任務を意識し、各種訓練に真剣に取り組んでもらいたい」「融和団結」「健康管理」の3点を要望、「本訓練の目的を十分に達成する事を期待する。」と述べ訓示した。

本訓練は、第1中隊(中隊長 後藤3佐)が担任し、射撃訓練、体力測定、野外衛生、特殊武器防護訓練及び職務訓練を実施した。

訓練間、参加者は疑問点を教官・助教に積極的に質問して理解を深めるなど熱心に取り組みつ、久々に再会する旧友や現役隊員との親交を深めていた。



訓練開始式

「令和4年度新隊員特技課程及び第18期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」を実施



申告(軽火器2区隊1班 井上祐人2士)

9月28日(水)、教育隊教場において「令和4年度新隊員特技課程及び第18期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」(執行者 連隊長 荒木一佐)を実施した。

式には教育を修了した軽火器区隊38名、迫撃砲区隊23名の計61名が参加し、最先任上級曹長、各幕僚及び各中隊長が陪列した。新隊員を代表して軽火器2区隊1班 井上祐人(いのうえ ゆうと)2士(天重市出身)が教育修了申告及び中隊配置申告を行った。引き続き、本教育における成績優秀者に対して褒賞状が授与された。執行者は式辞において「第一線部隊である各中隊へ配属され、先輩隊員とともに実任務に就くことになる。様々な訓練等を実施し、自己の修練に励んでもらいたい。」と述べ、新隊員の今後の活躍を激励した。

3カ月の教育を終えた新隊員たちは自信に満ち溢れた表情で、「中隊配置後はいち早く中隊の雰囲気慣れ、教育で学んだことを実践したい。」と決意を新にしていた。



区隊旗返還



褒賞状の授与



野外衛生



特殊武器防護

「令和4年度天童市総合防災訓練」に参加



オートバイで偵察(操縦手 原田3曹)

10月2日(日)、天童市立津山小学校グラウンドにおいて実施された「令和4年度天童市総合防災訓練」に第3中隊(中隊長 丸山3佐)斎藤3曹以下4名が参加した。

訓練は「村山市を震源とする直下型の大規模地震が発生し天童市では震度6強を観測、前日まで降り続いた雨で地盤が緩んでいたため地震による土砂災害が発生、多数の負傷者が出ており、さらに倒壊した家屋より火災が発生、延焼のおそれがある」という想定で行われ、各関係機関及び団体が参加した。連隊は情報収集・伝達訓練において、オートバイによる天童市内の偵察を実施した。

オートバイの操縦手(原田3曹)は、災害発生地の悪路を想定しつつ、慎重かつ迅速な操縦技術を発揮し、被害状況について広帯域多目的無線機を使用して本部に伝達、与えられた任務を遂行した。また、車両展示コーナーにおいて高機動車及びオートバイを展示、天童市長をはじめ市民の方々が見学し、自衛隊の装備品及び災害対処能力等について理解を深めていた。

本訓練において、災害時における情報収集能力を向上させるとともに、自治体及び関係機関との連携強化を図ることができた。

11月行事予定

- 3日(木・祝)・やまのべまるごとフェスタ(PCO広報展協力)
- 6日(日)・白鷹町産業フェア(PCO広報展協力)
- 7日(月)～11日(金)・小規模演習場整備
- 18日(金)～25日(金)・連隊射撃野営・基礎となる部隊の訓練検閲

各種表彰

- 【服務優秀中隊】
(無事故500日達成)
・本部管理中隊
- 【新隊員教育機関要員に対する臨時表彰】
○第4級賞詞
(職務遂行による功績)
・第1中隊 2曹 新野 直彦
・第2中隊 3曹 星 和友
○第5級賞詞
(職務遂行による功績)
・本部管理中隊 3曹 後藤 政樹
・同 3曹 今田 大貴
・第3中隊 3曹 堀越 一史
・第4中隊 3曹 佐藤 春生
・重迫撃砲中隊 3曹 鈴木 晋
- 【連隊長褒章メダル】
(訓練検閲優秀隊員)
・本部管理中隊 3曹 高橋 潤
・同 3曹 三浦 裕介
・第4中隊 2曹 岩崎 幹生
・同 3曹 大河原 祐也
・同 3曹 渋谷 洋佑
・同 3曹 根本 翔太
・同 3曹 浅間 颯斗
(副連隊長伝令下番の功績)
・第4中隊 士長 阿星 日向
- 【令和4年度(2/四半期)情報資料提供優秀隊員】
(優秀隊員)
提供件数 38件
・重迫撃砲中隊 3曹 高橋 一輝

- 【情報管理ポスター及び標語最優秀作品】
(ポスターの部)
・重迫撃砲中隊 士長 二瓶 実里
(標語の部)
・本部管理中隊 1士 阿部 蘭
「その写真 盛れているけど 漏れている」

- 【第2陸曹教育隊上級陸曹教育中隊長より褒賞状】
(第13期陸曹中級課程において成績優秀)
・第1中隊 2曹 遠藤 功雄

- 【第2陸曹教育隊普通科中隊長より褒賞状】
(第141期陸曹候補生課程臨時助教の功績)
・第2中隊 3曹 鈴木 康平

- 【令和4年度後期(師団)情報管理検査優秀隊員】
(秘密保全)
・本部管理中隊 2曹 大澤 裕仁
(情報保証)
・第1中隊 3曹 佐藤 俊喜
(個人情報)
・重迫撃砲中隊 2曹 五十嵐清和
(行政文書管理)
・第1中隊 2曹 簾内 輝

- 【令和4年度後期(師団)物品管理検査優秀隊員】
・本部管理中隊 3曹 有路幸太郎
・第1中隊 2曹 菅井 奈穂
・第3中隊 3曹 原田 康平
・第4中隊 2曹 渡部 泰誠

- 【9月警衛勤務優秀らっぱ手】
・重迫撃砲中隊 士長 二瓶 実里
(28日上番)

定年退官者紹介

永年の勤務、お疲れ様でした。



- ・重迫撃砲中隊
- ・鈴木 善徳 准尉
- ・9月21日付
- ・東根市在住
- ・第2中隊
- ・丸藤 正浩 曹長
- ・10月4日付
- ・酒田市在住

親子で連隊勤務

本部管理中隊 橋本 彰弘 2曹(左側)
○コメント
娘に追い越されないように必死に頑張ります。
連隊の皆様、親子共々ご指導のほどよろしくお願ひします。

第4中隊 橋本 愛叶 1士(右側)
○コメント
父を追い越せるように目標をもって頑張ります。



県内各地で車両展示



日本一の芋煮会フェスティバル(PCO広報展)



トラックの日イベント(駐屯地広報班が実施する広報展)

令和4年度鶴岡市総合防災訓練(PCO広報展)

9月18日(日)から10月9日(日)までの間、県内各地で実施されたイベント等(別表に表記)において自衛隊山形地方協力本部及び駐屯地広報班が実施する広報展にそれぞれ協力し、車両展示を実施した。
イベント当日は、いずれも晴天に恵まれ、多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。協力した隊員たちは、記念撮影の依頼に快く応じたり、寄せられた質問に対しハツラツと受け答えを行うなど、来場者を楽しませた。
連隊は、広報展協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。

実施日	イベント名	協力人員	車両展示内容
9月18日(日)	日本一の芋煮会フェスティバル	第3中隊4名	高機動車・軽装甲機動車
10月2日(日)	令和4年度鶴岡市総合防災訓練	重迫撃砲中隊2名	高機動車
10月8日(土)	尾花沢もっとまるだし未来まつり	第1中隊3名	軽装甲機動車・オートバイ
10月9日(日)	さかた大繁盛ハロウィンまつり	第2中隊2名	高機動車
10月9日(日)	第43回金山町産業まつり	第1中隊2名	軽装甲機動車
10月9日(日)	トラックの日イベント	第3中隊2名	軽装甲機動車

昇任おめでとう!

(10月1日付)

○1等陸士へ

本部管理中隊 大野 義郎	第1中隊 相内 好誠	第1中隊 強間 莞次	第2中隊 田宮 守	第3中隊 矢萩 一耀	第4中隊 鈴木 義道
同 高木陸太郎	同 小山内天星	同 武田 大波	同 佐藤 実莉	同 高橋 一史	同 山田 空
同 辻本 悠貴	第1中隊 舟澤 誠	第2中隊 高橋 陽斗	第3中隊 加藤 康佑	同 宮林 蘭	同 橋本 愛叶
	同 渡部 義貴	同 森谷 陽斗	同 島津 志星	第4中隊 井上 祐人	重迫撃砲中隊 原田 学
	同 紺野 倅聖	同 石川 悠太	同 伊藤 輝	同 安食龍之介	同 小松 海
	同 庄子 春輝	同 大石 優翔	同 佐藤真斗偉	同 星川 翔太	同 今 一心
	同 嶋守 蔵人	同 藤崎 創太	同 今田 要	同 菊池颯太郎	同 後藤 璃空
	同 石山 海唯	同 八重樫和磨	同 大泉 友優	同 加藤 遵	同 富樫 虹海

「PCO広報展」に協力